上野中だより

上野村立上野中学校　学校通信
第６号（文責：校長　五十嵐貴子）
令和４年６月１０日発行

紫陽花が咲き始めました。そして、いよいよ梅雨に入り、肌寒い日が続いています。教科の単元が終わるごとにテストをして、学んだことが身についているか確かめながら、「授業が楽しい」と頑張っている生徒たち。コロナ感染防止対策をしながら、いろいろな行事も戻ってきています。「上野中、すごい」という言葉が聞こえるのを楽しみに、生徒も教職員も頑張ります。

校内少年の主張大会

校内少年の主張大会が行われました。５月ごろからテーマを決め、原稿を書き、何度も練り直して、全員が学級で発表をしました。８日（水）には、代表に選ばれた７名が、堂々と自分の考えを主張しました。「みんな、すごい」全ての発表がすばらしく、聞いている側の生徒もみな真剣な態度でした。それぞれが、今考えていること、友達の考えを聴いて心に留まったことを、大切にしてほしいなと思いました。

学校代表は藤田　舞さんに決まりました。７月２日(土)に南牧村で行われる「少年の主張西部地区郡大会」に上野中代表として出場します。

県大会（団体戦）に挑む！

４日（土）、群馬県中体連春季大会が開催され、男子卓球部が藤岡多野の代表として勝負に挑みました。緊張感のある練習や練習試合を積み重ねて、やってきたこの舞台。やはりかっこいいものでした。１回戦、対　梅田中（桐生）。惜敗。悔しさが残ります。夏、再びこの場所に立って、リベンジです。

１１日（土）は個人戦です。頑張れ！

学校運営協議会

今年度、上野小中学校はコミュニティースクールとして活動に取り組んでいます。２日(木)には、第１回学校運営協議会が開催され、委員の皆さん（全１２名・区長会長さん、長寿会長さん、児童委員さん、保育士さん、ＰＴＡ役員さん、教職関係者など）に学校の経営方針を説明しました。保護者や地域の皆さんに学校の取組（こんな子どもたちを育てたい）を知ってもらい、ともに知恵を出し合って一緒に協働しながら、子供たちの成長を支えていこうという仕組みです。

この仕組みを通して、もっともっと学校の様子を知ってもらい、上野小中学校の子どもたちが、元気によりよく成長していけるように、知恵と力を貸していただきたいと思います。よろしくお願いします。

1年生 「尾瀬学校」に向けて

１年生は、６月２２日(水)に「尾瀬学校」に出かけます。その事前学習として、ネイチャーガイドの宮田さんをお招きして、尾瀬の自然、現状、見どころなどを教えていただきました。５月の連休頃にはまだ、雪が残っていて白い景色だったそうです。ガイドブックの写真にあるような、こんな尾瀬が見られるといいです。豊かな自然にふれ、環境について考える機会にしたいと思います。

本を読もう！

昼休みは学校図書館が開館します。今は、来週の球技大会に向けて練習に励んでいますが、普段は本を借りたり読んだりと、生徒たちがやってきます。図書委員さん、当番、ご苦労様です。

上野中学校図書館には、新しい本もたくさん入っていますし、「今月の本」のコーナーなども。先日、座り心地のいい椅子にリニューアルしました。

図書館はもちろん、学級にも本がおいてあります。３年生の教室には、国語の教材の著者が書いたゴリラについての本があって、読んだ私は「ゴリラと暮らしてみたい」と思った次第です。２年生の教室では、「言葉の品格」という本が「言葉は自分に返ってくるんだよ」と教えてくれています。言葉は人なり、大事に使おうと思います。

朝は、鳥の声、風の音、川のせせらぎをＢＧＭに、素敵な朝読書で１日が始まります。雨の日は外に出られないので、読書がピッタリです。忙しい学校生活ですが、いつも読みかけの本をもっているってかっこいいなと思います。

本は心の栄養です。